

学長挨拶

President's Message

国立大学は2022年4月より6年間の第4期中期目標期間がスタートいたしました。また岐阜大学は、東海国立大学機構として4回目の春を迎えています。

東海国立大学機構が掲げる「Make New Standards for the Public」というミッションを共有し、その上で「学び、究め、貢献する」という本学の理念のもと、ビジョンを「地域共創、特色ある研究、イノベーション、教育を戦略的に推進し、地域と人類の課題解決に貢献する『地域活性化の中核拠点』となる」と定め、世界を見据えた上で、ビジョンを実現するための戦略を策定いたしました。

本学の強みである、「産業・まちづくり」、「ものづくり」、「食づくり」、「医療づくり」、「人づくり」の分野でステークホルダーとの共創のもと、地域社会への教育・研究・社会貢献などから生まれる成果が地域を変えていくこの好循環を、「ぎふのミ・ラ・イ・エ構想」(Migration, Laboratory, Innovation, Education)と名づけ、岐阜大学の価値創造のモデルとして位置づけました。

一方、直近の3年間はコロナ禍に加え、ロシアのウクライナ侵攻により、世界は歴史的なダメージを受けました。社会生活の制約や物資・電気代の高騰など大学運営も極めて厳しい状況に直面いたしました。しかしながら、岐阜大学は大きな発展を遂げています。

第一にあげられることは、両大学の強みを結集した、東海国立大学機構直轄拠点の充実です。その中でも特筆すべきは、東海国立大学機構・糖鎖生命コア研究拠点の発展をあげることができます。糖鎖分野における世界トップレベルの研究拠点として、国家プロジェクトである大規模フロンティア事業「ヒューマングライコムプロジェクト」を担当する運びとなりました。岐阜大学の誇りであります。

さらに、航空宇宙研究教育拠点の実績と発展は目を見張るものがあります。東海国立大学機構と岐阜県が内閣府の支援を得て、航空宇宙産業を中心としたさまざまなものづくり企業に貢献できるサイバー・フィジカル・ファクトリーを実現するための研究開発を進めています。

研究に関して強調したい取り組みが、医学・獣医学・薬学による先進医療と創薬、応用生物科学・工学部による食・農・バイオエンジニアリングを加えた革新的なライフサイエンス拠点の構築です。2023年1月にはOne Medicineトランスレーショナルリサーチセンター(COMIT)を立ち上げ、研究基盤の整備と地域一体型の臨床研究体制を整え、東海国立大学機構 創薬・先端医療研究戦略構想を実現すべく研究活動が活発になっています。

一方、カーボンニュートラルおよび気候・環境変動対策もSDGs実現のために重要な課題です。社会課題を科学技術・イノベーションの発展で経済成長のエンジンへと押し上げていきます。

第二に強調したい点は、教育面での改革です。名古屋大学との連携で、全学教育科目の共同授業の実施、特に英語教育や数理データサイエンス・AI教育などの単位互換性授業が可能となりました。大学院博士課程学生への支援強化も実現しました。アカデミックセントラルの教育学修環境整備をさらに推

進することにより、キャンパスDXを推進するデジタルユニバーシティ構想の実現も楽しみです。

2022年に文部科学省の「地域活性化人材育成事業～SPARC～」に申請した「ぎふ地域創発人材育成プログラム～地域活性化を目指した知的基盤の構築～」が採択されました。今後、国立、公立、私立の大学が連携法人をつくって共通の教育プログラムをつくとともに、地域の産官学金との連携を高め、地域に密着した学びを深めることと、地域を活性化する仕組みづくりを進めていきます。

第三に挙げられる発展は、国際展開力です。地域における中核大学を目指すからこそ国際連携・国際交流を推進しなければならぬと考えています。「世界で通用する人材こそ地域で活躍できる人材」であります。岐阜大学はすでに大学間では49大学、部局間では59大学と協定を締結していますが、今後はさらに増やしていきたいと考えています。また、国際化と教育研究力のさらなる向上を図るため、協定校のインド工科大学グワハティ校(IITG)およびマレーシア国民大学(UKM)と、ジョイント・ディグリープログラムとして4つの国際連携専攻を開設しています。今後は、東南アジアの協定校とジョイント・ディグリープログラムの開設を検討するとともに、産学連携して地域まるごと国際交流を推進するプロジェクトも展開していきます。

自治体との連携もこれまで以上に進めていきますが、地域共創に貢献するためにも大学発のスタートアップ支援には一段と力を入れていきます。

岐阜大学は新しいビジョンや戦略を通じて、学生・教員・職員・ステークホルダーの皆様と共に、「若者の夢を実現する岐阜大学、地域づくり」を実現し、社会変革の駆動力として成長し続ける経営体に向けた変革と「持続可能な地域中核大学」としての発展を目指します。

岐阜大学長 吉田 和弘



Contents

学長挨拶	01
岐阜大学の理念と目標	02
岐阜大学憲章	03
岐阜大学の教育における3つの方針	04
環境への取り組み	05
大学組織	06
教育研究組織	07

教育 学ぶ岐阜大学

教育推進・学生支援機構	14
学生数	16
入学状況	18
学部卒業生数・進路状況	19
国家試験合格状況・教員採用状況	20
大学院修了者数・進路状況	21
学生支援施設	23
学生サークル活動	24

研究 究める岐阜大学

学術研究・産学官連携推進本部	25
特色ある研究の取り組み	26
科学研究費助成事業	28
共同研究・受託研究	29
発明届	29

社会連携 貢献する岐阜大学

地域連携	30
公開講座・シンポジウム・フォーラム	31
市民大学講座	31
高大連携	31

国際交流

グローバル推進機構	32
留学生受入・派遣状況	33
学術交流協定締結大学等一覧	35
研究者受入・派遣状況	37
国際交流会館	37
海外オフィス	37

組織

学長・副学長等一覧	38
構成員数	40
予算	41
寄附金	41
沿革	42
歴代学長	43

キャンパス

建物配置図	44
土地・建物	46
所在地・交通案内	48